

臨時国会を開け 森友・加計疑獄 徹底究明を

「総理のご意向」で、
加計グループが全国展開
流れた血税が
440億円と報道
(今治市獣医学部新設133億円)



政治の私物化許さない 安倍内閣は直ちに退陣を！

政治の私物化極まる 《加計学園疑獄》

安倍総理の「腹心の友」である加計孝太郎氏が理事長を務める加計学園は、「獣医学部をつくりたい」と、過去に15回も申請してきたが、認可を得られませんでした。ところが、第二次安倍政権になってから文部科学省は、突然方針を変更、獣医学部新設を許可。さらに、建設地の愛媛県今治市が、37億円の土地を無償提供したうえ、建設費の約半分の96億円も拠出することに。腹心の友のため、安倍首相らが働きかけたのが加計学園疑獄です。

「官邸からの圧力」明らかに

この獣医学部新設にまつわる疑惑では、6月15日に文部科学省が内部調査の結果を発表。この間、表に出ていた内部文書の大半が「怪文書」どころか本物であり、「総理のご意向」「官邸の最高レベルが言っている」などの文書も実在すると認めました。

ところが、内閣府は資料も示さずこれを否定。国会も開かずに逃げ切りは許されません。

安倍首相は、「獣医学部の全国展開」と突然表明。また、特区諮問会議の民間委員は、そろって会見を開きこれを擁護していますが、「規制緩和」が問題ではなく、“政治の私物化”が問われています。

